

ネイチャー 2010 年 6 月 29 日号 465:1104-1107

仕事に対する満足度とその要因を、キャリアステージ、性別、地域別に調査したアンケート結果（数十ヶ国 10500 人の回答を元に）。

“For love and money”, Nature 465:1104-1107, 24 June 2010/06/29

概要

- 給料、医療・休暇制度、仕事の自由度等 8 項目の総合満足度はデンマークが一位、最下位は日本。（十分なサンプルサイズが得られた 16 カ国中）
- 育児休暇制度（男女とも）に対する満足度は日本が下から 2 番目、最下位のスイスとほぼ同じ満足度。つまりほぼ最下位。
- 仕事の自由度（個人の裁量度）に対する満足度は日本が最下位
- 男性の給料は女性より 19-40% 高額（十分なサンプルサイズが得られた 9 カ国）。
給料の男女差は、学位取得後 6-10 年まではほとんどがないが、それ以後拡大（北アメリカ、ヨーロッパ、全体で比較）
- 総合満足度に最も大きな影響をあたえると考えられた要因（項目）は、「上司、同僚からの指導・助言」
- “Two-body challenge”（研究者カップル両方の求職）が、最近の職を得た時期や方法にどの程度影響を与えたかについては、「非常に大きい」と答えた割合は、韓国、中国、日本で低い（10% 以下）。しかし、「非常に大きい」「有る程度大きい」と答えた割合は、ヨーロッパ、アメリカと並んで日本も 54% と高い値。